

# TOKYO MAIL NEWS



EAST  
TRANSPORT  
SERVICE WORKERS  
UNION

輸送サービス労組 東京地本

JTSU-E TOKYO

2021.7.1  
No.345



HOME PAGE

TEL: 03-5561-1111



## 三菱電機の検査不正問題

# 鉄道の安全に関わる大事件！

三菱電機が鉄道向け空調機器をめぐり長期間不正な検査を続けていたことが明らかになりました。事実を把握しながら株主総会でも説明していません。極めて悪質であり、製品の安全性を軽視する姿勢は断じて許せません。問題の製品は、長崎製作所で製造されており、防水性や消費電力、電圧の制御などについて適切な検査を行わず出荷されました。また、ドアの開閉やブレーキに使う空気圧縮機でも検査不正が明らかになり、国土交通省が入念な点検を要請しています。三菱電機は「安全性に問題はない」としていますが「問題が無ければ安全」と言い切れるのが不思議でなりません。1985年ごろから続いていたとみられ、これが事実なら35年以上不正は放置されていたこととなります。製品は新幹線を含むJR各社や私鉄、地下鉄など全国の鉄道車両に使われています。さらに欧米各国にも輸出しており、日本製品の信頼低下にもつながりかねません。

三菱電機やグループ会社では、リコール隠しや、リコール隠しが原因と思われる死亡事故が相次ぎました。一連の不祥事の経緯や対応をみる限り、隠ぺい体質や人事・製品管理のずさんさであり、過去の不祥事を全く反省していません。三菱電機は、社内調査するとしていますが、このままでは誰も信用できません。

私たちはコロナ禍の中、エッセンシャルワーカーとして安全で安心な鉄道を提供するために日々努力しています。その努力を無にする行為でもあり、鉄道を利用するお客さまは検査不十分な空調が取り付けられた車両を長期間利用していたこととなります。安全運行上極めて深刻な事態であり、私たちは緊急点検の実施など毅然とした対応を強く求めます。

**「問題が無ければ安全」ではない！  
「安心」が提供できなければ「安全」とは言えない！**